

◇自転車国内販売動向調査 提言 ◇

自転車国内販売動向調査検討会

委員長 木戸 茂

§ 現状の調査内容

1. 調査方法

1. 毎月1回
2. 郵送法（月末に対象店舗へ調査票を郵送、翌月上旬に記入、中旬に回収・集計、下旬に調査月報公表）

2. 調査対象

全国の自転車小売店（各車種を一通り取り扱う、従業員が3人までの店舗）100店
（予備店舗を含む約120店舗でパネル構成）

3. 調査項目

1. 車種別・価格帯の当月の販売台数
2. 車種別で当月に最も売れ筋のフレームカラー
3. 今後2～3ヵ月の販売見通し（「好転・横ばい・悪化」から選択）
4. 車種別の前月末在庫台数・当月仕入台数・当月販売台数・当月末在庫台数
5. 自店や他店の動向、消費者ニーズ、メーカーや卸への要望等のコメント（自由記述）

§ 検討課題

当協会が実施している自転車国内販売動向調査については、現在、国内において公的な自転車の販売データが公表されていないことから、唯一、自転車の販売の動向を知る上での貴重なデータとなっており、現状、毎月ホームページにおいて結果を公表するとともに、外部よりの問い合わせに対する参考データとして活用している状況にある。

しかしながら、現在の調査方法、内容等について、過去10数年来大幅な見直しを検討することもなく、特に、調査対象店においては、従業員規模3名までの従来型の標準小売店で構

成されており、近年の消費者の購買におけるルートの変化等、更には調査項目における対象車種などで調査内容の一部が、現状に即していない箇所も見受けられる。このため、本調査が自転車業界にとって有効であり、有益な調査として役立っているのか、当協会だけでは判断することのできない不透明な箇所もあるため、本年度有識者、団体を構成する自転車国内販売動向検討会を設置のうえ、検討会においてメーカー、調査販売店、大型専門店等に対する意向調査、ヒヤリング等を実施して、本販売動向調査に関する中身を具体的に検証してきた。

なお、検討会において、以下のとおり検証した結果を本提言書にまとめ、次年度以降の本調査の内容に反映していきたいと考える。

§ メーカーに対する意向調査・ヒヤリング結果

1. 活用状況について

- 年間総括を活用し役立っている、月報は参考にしていない。
- 売れ筋フレームカラーを年度別に分析し年度別の傾向として把握している
- 販売動向調査や他のデータ等を加工、経営会議で使用している。
- ハブダイナモのニーズを把握する上でシティ車、ホーム車、子供車の動向の推移を見て需要を推測している。
- フレームカラーはあまり参考にしていない。

2. 現状の調査について

(1) 車種区分

- シティ車とホーム車の区別がつきづらい。明確な区別、もしくは統合が必要。
- 自転車協会会員統計に合わせる。（シティ車＝軽快車、ホーム車＝ミニサイクル）
- 購入層とタイプがわかる様に区分を変更。モータバイクは無くてもよい。
 - ① 一般車（24～28 吋のシティ・ホーム）
 - ② 小径車（20～22 吋で折畳含む）
 - ③ スポーツ車（マウンテンバイク含む）
 - ④ 幼児二人同乗基準適合又は子乗せ自転車
 - ⑤ 通学車（中高生）
 - ⑥ 少年少女車
 - ⑦ 子供車（幼児含む）
 - ⑧ その他自転車（中古、三輪自転車、実用車など）
 - ⑨ 一般電動アシスト車（シティ・ホームなど）
 - ⑩ 幼児二人同乗基準適合又は子乗せ電動アシスト車

(2) 価格帯

- 車種毎に価格帯を独自に設定すべき（電動アシスト車、スポーツ車は上限価格帯に集中している）。
- 10万円以上を、更に10万以上、13万以上、15万以上、17万以上、20万以上に細分化。（電動アシスト車や高級スポーツ車の価格に対応）。

(3) フレームカラー

- 他の調査項目が増加して、回答が大変であれば削除も可。

3. 要 望

- 調査対象店舗は大型店舗も加え、これまでの100店舗に追加する。また、スポーツ車専門店の追加も検討。分析は店舗の規模に準じて小型、大型、スポーツ別にする。また、各種データのグラフ化（可視化）を検討。
- 大型チェーン店が多くなってきており、その比率が年々高まってきている。業界全体の動向を把握する為、規模別、流通別に調査できないか。
- 小型店・大型店・量販店の業態別に知りたい。
- 調査店舗数はそのままでも、小型店・大型店・量販店の業態別の情報が知りたい。
- 量販店調査のデータがあればありがたい。
- 大型店、スポーツ車中心の店舗データもあればよい。
- 地域区分を9地域ではなく、細分化して可能であれば倍にしてほしい。
- 車種毎の平均価格の推移があればよい。
- インターネット販売が増えているので売上げ比率がどの位あるのか知りたい。
- 修理箇所を分析し製品の改善・開発につなげたいので、修理箇所、修理内容、工賃の項目を加えてほしい。
- ダイナモ関連のメーカーで、ブロックダイナモ、ハブダイナモの搭載状況を知りたいので、可能であれば追加をお願いしたい。
- この種の調査をしている事を強く外部に主張し、認知してもらう事が、業界全体の様々な向上に繋がると思う。
- メールマガジンで配信すれば社内的にもっと使いやすくなる。
- ユーザー動向を把握するために、①購入客の性別、②年齢、③店の選定理由などの項目を検討してはどうか。
- 通販の有無。自転車、パーツ、修理の販売金額の内訳比率。
- 工賃による利益の推移、品質問題（消費者のクレーム）の内容と増減の推移。

3. その他

- GFK（調査会社）より電動アシスト自転車の売れ筋（家電・量販店約 40 社データ）を購入している。
- 独自に高校での電動アシスト自転車の実態調査をしている。
- 内部調査のみで店舗を決め定期的に面談調査をしている
- 市場の動向は定期的に自社の認定店に聞いている。
- 大型店舗に行って調べる。
- ユーザー（購入者）情報は独自に調査をしている。

§ 調査店舗に対する意向調査・ヒヤリング結果

1. 活用状況について

(1) 調査 1 店当たり販売台数

- 他店の販売台数は特に気にしていない。
- ロードレーサー中心の商品を販売している特殊な店舗のため殆ど活用していない。
- 新車販売が少な過ぎるのであまり参考にならない。

(2) 調査店 1 店当たり販売車種

- 各地域・店舗によって客層が異なる。
- 子供車に関しても在庫を置かないので活用はしていない。

(3) 地域別車種販売状況

- 特殊な地域で通学車はアルベルト指定のような注文が入り、カタログ販売なのでお客様都合である。

(4) 1 店当たり車種別仕入・在庫状況

- あまり参考にならない。
- 各店の特性がある。
- その店の考え、在庫できる店及び倉庫の広さもあるから。
- 在庫しないを実行中。
- カタログ販売のためお客さまませである。

(5) 業界 D I の推移

- 3 年前位の違いもみたい。
- 自分も無責任な回答をしているが例えば 12 月の回答をする時、1 月ダウン 2 月ダウン 3 月アップ どう回答していいか迷う。

- 立地条件、天気、景気等で変わるため。

(6) 販売店の声

- マイナス志向の文章ばかり、傷をなめ合うにはいいのかも…。
- すごく楽しみにしている。
- やる気を後押しされる時あり。
- 色々な考えがあっておもしろい。
- 販売店の声だけは動向が参考になる。
- 都道府県別に羅列され同じ内容が多くマンネリ化している。メーカー・市場の動向、販促の事例、量販店対策などテーマ別に分けた方が参考になる。

(7) 価格帯別車種別売れ筋情報

- 少しつまらない。
- 安価な自転車しか売れないのはみんな同じか。

(8) フレームカラー別車種別売れ筋情報

- 問屋さんに聞いている。
- 色の好みは多様で、店にある商品を買ってもらうので店にあらゆる色が出るので(数年前にホーム車でピンク系の色が流行し多く出たことがあるが) 記入するのに困る。

2. 現状の調査について

(1) 車種区分

- シティ車とホーム車をどのように区分するのかわかりにくい。
- シティ車の区分をもう少し細分化してほしい。例えばフレームの形状によりスタックタイプ、変形フレームなど。
- 子供車マウンテンバイクを子供車に分類？ 24 時のホーム車はミニサイクルでは？
- 子供車・幼児車は不要。小売店には子供車・幼児車の在庫は少なくあまり売れない。
- 小径車が必要。
- 小径車も近ごろは出ているので入れてほしい。
- 折りたたみ車より小径車の分類が必要。
- ミニヴェロ、クロスバイクを追加してほしい。
- スポーツ車をロード、クロスバイクなどに分けた方がよい。マウンテンバイクは数が減っているので要検討。
- スポーツ車にマウンテンバイクを含んだ方がよい。
- スポーツ車を細分化(クロスバイク、ロードバイク等)。

- クロスバイクも入れてほしい。
- ビーチクルーザーや特にクロスバイクの区分が難しい。

(2) 価格帯

- 定価またはオープン価格。
- 5,000円～10,000円単位で、50,000円以上をもう少し区分した方がよい。
- 高額のスポート車が増えているので、10万円超から100万円位まで価格区分がある方がいい。

(3) フレームカラー

- もう少し細かく区分。
- 今の時代1色にまとまることはない、せめて2色に設定してほしい。
- カラーを一種類に絞るのは適当でない。
- 同一車種で販売量の少ないものは区分にはならない。
- 2台販売した時はどちらの色にチェックするのか。
- カラーを1台ずつ集計するとより正確になる。
- 第1位のみでいいのか？1～3位の記入。
- 1色ではなく3色位はほしい、売れている順番も。
- 各色の台数。
- その他として色名を記入すれば。
- 水色はブルー系か？黄緑はどれになるのか？
- 九州内でも流行カラーがあるので地域別が望ましい。

3. 要望

- 今のままの内容で良い。
- できれば頑張っている店舗に調査してもらいたい。
- 全国の販売店の動向が非常に参考になっている。
- 調査対象店舗の基準があいまいではありませんか。月に販売が1台やゼロでは生活が成り立つはずがない。店の営業によって生活していることを前提とすべきと思う。
- 地域によっては調査店舗を大きく見直すべきだと思う。H25年5月の調査でも地域別の販売台数が「近畿」と「九州」で低く過ぎる。平均がとれていないような感じがする。
- 地域別販売の分類で北海道と東北を分離したが良いと思う。
- 販売台数の多数を占める大型店、ホームセンターの売れ筋等、資料があれば教えてほしい。

- 地方になる程スーパー、ホームセンターで購入し、自転車店は修理のみといった傾向が強いようなので、修理等の調査項目を加えては。
- 大型量販店の動向を知りたい。全国調査店の詳細（例えば東京都〇〇市）。
- 売上げ規模別（80～100台、100～400台等）、地域別の集計結果があると利用しやすい。
- 最近では高級スポーツ車が人気とか？スポーツ車の予約があった等あるが、どの位の数が1店あたり売れているのか？当店はママチャリ中心。
- 地域によって立地条件が違うので単純な比較はできない。他の地域の情勢よりこの地で、どのような方法で商売すれば良いかを考えている。調査の主旨が違うのかも知れないがハンディと思われる中で成功している店の具体的な対策等紹介する方法はないか（前向きな調査）。
- 自転車と一緒に部品などを買ってもらう工夫など、各店のやり方、アイデアなども載っていただければと思う。
- 組合への加入状況や活動、加入のメリット・デメリットなど意見を知りたい。
- 1店当たりの客数を知りたい。
- 購買者の年齢(層)。
- 購入者の設定(主婦・サラリーマン・学生)。
- 購入者が昔からの常連なのか初めてか。
- ネット販売の状況なども調査してほしい。修理代金の推移。
- 自転車整備安全対応度、インターネット販売の現況。
- 地域によって修理の内容、金額等はかなり違い、サービス等も大分違うのではないか。
- 一日どのくらいの修理の売り上げなのか等知りたい。
- パンク修理、タイヤ・チューブ交換など部品・工賃別代金。
- 修理代などだいたいいくらの設定か。
- 修理料金の調査を実施したら参考になる（タイヤ・チューブの取替〇,000円～〇,000円等）。
- 各店の修理代金と売り上げに占める割合など。
- 修理の増減が分れば良い。
- スポーツ車の販売時に別途どの位のパーツ代があるか。
- オプション(リヤバスケットとかミラー)の取付状況。
- メーカー(ブランド別)の調査。
- 売れ筋の自転車メーカー、用品の製品名など具体的なもの。

- その月に実売された自転車の中で印象的だったもの(メーカー、車種、車名、色など)を書き込み形で。
- 各地域における業販と量販店との販売比率(各県の登録取扱い事務所では把握していないか)。
- 大型店や専門店等で海外メーカーと契約が無いと修理パーツを卸商が注文できず、そのメーカーと契約している販売店で購入して修理しなくてはならない。
- 商品回転率と在庫率は同じか、違うのか。
- 天候に左右される業種なので暑い寒い雨風を当てはめると面白い。

4. その他

- 防犯登録発行数から自分の地域の販売台数の目安としている。
- 皆さんで困っていること、修理、また知らせたい事等伝言板を作ってみませんか？

§ 自転車流通研究会に対する意向調査について

1. 現状の調査について

(1) 車種区分

- スポーツ自転車の細分化が必要。例えば、ロードバイク、クロスバイク、MTBといった分類。自転車の流行がきたら分類の項目もすぐに追加や入れ替えできる等の対応できる体制があればよい。
- マウンテンバイクをスポーツ車のジャンルに統合した方がよいかと思う。
- 「ロードレーサー」・「クロス」・「MTB」の区別とか。シティ・ホーム車の区別ではなく、2万円以上・2万円未満でよいのでは？売れている車種・価格帯は地域によって違うはず、価格帯で分けた方がわかりやすい。昔からシティ・ホーム・ファミリー・軽快車などそれぞれが使い・自分たちの都合で分類している感じではないか？「型」ではなくシティ車等は価格でそれこそ「安い」のが売れているのか「それなりの価格帯」が売れているのかがわかった方が資料として活かせる。
- - ・軽快車(変速なし)
 - ・軽快車(変速あり)
 - ・折りたたみ車
 - ・子供車
 - ・幼児車
 - ・スポーツ車
 - ・電動アシスト車

(2) 価格帯

- 現在の販売価格は製造側が知りたい情報である。販売側とすれば3,000円毎の情報が必要。5,000円毎でもよい。実際の販売価格は13,800円、19,800円といったものである。

2. 要 望

- ヘルメットに関心がある。ヘルメットを購入した年齢構成や色といった統計がほしい。また、幼児車とジュニア車とヘルメットを買った子供の購買行動などである。子供がピンクの自転車を買ったら、ピンクのヘルメットを買うのかどうか、といった相関関係が分かるような統計がほしい。
- 全国の販売台数でエリアの販売店件数を調整し、適正な割り合いでのデータとして活用したいと思う。国政選挙の格差と同様のこと。
- 調査実施店舗を増やすことと、調査結果の区分を9地区でも構わないのでブロックごとに公表すると良い。
- 販売動向の調査対象店舗が個人向け販売(従業員3名)のデータを基本としているため、現在の販売動向を反映しているものではないと感じる。多くのHCやGMSが所属していない現状があり、同データの収集が困難な状況にありますが、収集できればより一層よい調査データになると思います。
- パーツ・アクセサリ販売と修理の統計がとれるとよい。また、パーツ・アクセサリ販売と修理は、細かな内容まで区分されるとさらにより。例にすると、ポンプ(空気入れ)、ヘルメット、グローブといった分類である。消費者のポンプへの関心は低いと思う。
- 購入客の性別・年代。購入層の推移、動向を把握し、販売戦略に活かしたいため、2点の追加調査を希望する。
- 販売動向、価格帯別・フレームカラーは、全国区以外に関東関西の2ブロックまたは9ブロック(調査設計通り)に分けて見られるとよい。

§ 自転車国内販売動向調査 提言

別紙のとおり

《自転車国内販売動向調査提言》

H25.12.19

項目	現状	ヒヤリング・意向調査での意見・要望・課題点	対応策
調査方法	毎月1回 郵送法		
調査対象	<p>各車種を一通り取り扱う、従業員が3人までの自転車小売店舗：100店舗（予備20店舗弱）</p> <p>9地域別：北海道・東北（15）、北関東（5）、南関東（20）、北陸（7）、中部（13）、京阪神（14）、近畿（6）、中国・四国（10）、九州（10）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域別販売を北海道と東北を分離したがよい ・調査対象店舗は大型店舗も加え、これまでの100店舗に追加する。また、スポーツ専門店のジャンルの追加も検討要。そして分析は小型、大型、スポーツ別になされると良い。 ・地域によっては調査の店舗を大きく見直すべき。H25年5月の調査でも地域別の販売台数が「近畿」と「九州」で低く過ぎる。平均がとれていないのではないか。 ・調査実施店舗を増やすことと、調査結果の区分を9地区でも構わないのでブロックごとに集計してほしい ・大型店のデータがないので市場を反映していない ・自転車販売店は日本全国で15,000店程度あるが、100店舗では精度に疑問が残る 	<p>地域の見直し 地域差があるのか過去データを検証しブロック構成を検討</p> <p>規模別調査 従来の小型店、大型専門店 小型店を販売台数によって区分</p> <p>調査店舗数 300店舗が理想であるがパネル調査で、かつ毎月調査なので100店舗でもバラツキはない 店舗の入れ替えは必要（1、2年のローテーション） 成功している店舗をベンチマークとしてとりあげるほか、うまくいっている店の事例も紹介する</p> <p>【見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域：5ブロック（北海道・東北／関東／中部・北陸／近畿／中国・四国・九州） ・大都市／地方と異なる特徴での区分 ・店舗規模：小型店／大型専門店／量販店 ・調査店舗数：小型店 100店 大型専門店 2社（自転車流通研究会メンバー） ・その他：Gfkより四半期ごとの電動アシスト車データ
車種別当月の販売台数	<p>車種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シティ車 ・ホーム車 ・折りたたみ車 ・子供車 ・幼児車 ・マウンテンバイク ・スポーツ車 ・電動アシスト車 ・中古車 ・モータバイク 	<p>【シティ車・ホーム車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シティ車とホーム車の区別がつきづらい。明確な区別、もしくは統合 ・自転車協会会員統計に合わせる（シティ車＝軽快車、ホーム車＝ミニサイクル） <p>【スポーツ車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ車をロード、クロスバイクなどに区分 ・スポーツ車にマウンテンを含める <p>【子供車・幼児車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供車・幼児車は不要（子供車・幼児車の在庫は少なくあまり売れない） <p>【全体区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区分の追加や入れ替えが対応できる体制があればよい ・購入層とタイプがわかる様に区分を変更（モータバイクはなくてもよい） <ol style="list-style-type: none"> ① 一般車（24～28時のシティ・ホーム） ② 小径車（20～22時で折畳含む） ③ スポーツ車（マウンテン含む） ④ 幼児二人同乗基準適合又は子乗せ自転車 ⑤ 通学車（中高生） ⑥ 少年少女車 ⑦ 子供車（幼児含む） ⑧ その他自転車（中古、三輪自転車、実用車など） ⑨ 一般電動アシスト車（シティ・ホームなど） ⑩ 幼児二人同乗基準適合又は子乗せ電動アシスト車 <p>・軽快車（変速なし） 軽快車（変速あり） 折りたたみ車 子供車 幼児車 スポーツ車 電動アシスト車</p> <p>・小径車の追加（折りたたみ車より必要）</p>	<p>業界の他の統計との整合性がとれる区分</p> <p>トレンドがわかる方法としてコメントの記入</p> <p>【見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般車 <ul style="list-style-type: none"> ・スタックード型（変速なし・ハブダイナモなし） ・スタックード型（変速なし・ハブダイナモあり） ・スタックード型（変速あり・ハブダイナモなし） ・スタックード型（変速あり・ハブダイナモあり） ・Wループ型（変速なし・ハブダイナモなし） ・Wループ型（変速なし・ハブダイナモあり） ・Wループ型（変速あり・ハブダイナモなし） ・Wループ型（変速あり・ハブダイナモあり） ○幼児・子供車 <ul style="list-style-type: none"> ・子供車 ・幼児車 ○スポーツ車 <ul style="list-style-type: none"> ・クロスバイク ・ロード ・マウンテンバイク ○小径車（折りたたみ車含む） ○幼児同乗用自転車（電動アシスト車含む） ○電動アシスト車 ○中古車 <p>婦人用フレーム</p>

項目	現状	ヒヤリング・意向調査での意見・要望・課題点	対応策		
価格帯別当月の販売台数(車種別)	<ul style="list-style-type: none"> ・10,000円以下 ・10,001～13,000円 ・13,001～17,000円 ・17,001～20,000円 ・20,001～23,000円 ・23,001～27,000円 ・27,001～30,000円 ・30,001～33,000円 ・33,001～37,000円 ・37,001～40,000円 ・40,001～50,000円 ・50,001～70,000円 ・70,001～100,000円 ・100,000円以上 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 10万円以上を、更に10万以上・13万以上・15万以上・17万以上・20万以上の追加 <input type="checkbox"/> 高額スポーツ車が増えているので10万円超から100万円位までの区分 <input type="checkbox"/> 10,000円単位～5,000円単位で、50,000円以上の細分化 <input type="checkbox"/> 販売側は3,000円毎の情報が必要 5,000円毎でも可、実際の販売価格13,800円・19,800円…) <input type="checkbox"/> 売れている車種 価格帯は地域によって違うはずなので地域別区分 	<p>過去のデータを検証し見直す</p> <p>【見直し】 スポーツ車、電動アシスト車は別区分にする</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;"> スポーツ車 30,000円以下 30,001～50,000円 50,001～80,000円 80,001～100,000円 100,001～150,000円 150,001～200,000円 200,001～300,000円 300,001円以上 </td> <td style="text-align: center; width: 50%;"> 電動アシスト車 50,000円以下 50,001～70,000円 70,001～100,000円 100,001～120,000円 120,001～150,000円 150,001円以上 </td> </tr> </table>	スポーツ車 30,000円以下 30,001～50,000円 50,001～80,000円 80,001～100,000円 100,001～150,000円 150,001～200,000円 200,001～300,000円 300,001円以上	電動アシスト車 50,000円以下 50,001～70,000円 70,001～100,000円 100,001～120,000円 120,001～150,000円 150,001円以上
スポーツ車 30,000円以下 30,001～50,000円 50,001～80,000円 80,001～100,000円 100,001～150,000円 150,001～200,000円 200,001～300,000円 300,001円以上	電動アシスト車 50,000円以下 50,001～70,000円 70,001～100,000円 100,001～120,000円 120,001～150,000円 150,001円以上				
車種別で当月に最も売れ筋のフレームカラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラック ・シルバー系 ・ホワイト系 ・ブルー系 ・パープル系 ・レッド系 ・グリーン系 ・イエロー系 ・オレンジ系 ・ピンク系 ・ブラウン系 ・2色以上・その他 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 第1位～3位の記入 <input type="checkbox"/> より正確にするため価格帯と同じく全数の集計 <input type="checkbox"/> その他として色名の記入 <input type="checkbox"/> 九州内でも流行カラーがあるので地域別がのぞましい <input type="checkbox"/> 他の調査項目が増加して、回答が大変であれば削除も可 	<p>価格帯と同じ形式 記入方法の見直し</p> <p>【廃止】 調査における優先順位が低いため、また新規に調査項目を充実させるため</p>		
今後2～3か月の販売見通し	「好転・横ばい・悪化」から選択	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3年前位の違いもみたい。 <input type="checkbox"/> 例えば12月の回答をする時、1月ダウン2月ダウン3月アップ どう回答していいか迷う <input type="checkbox"/> 立地条件・天気・景気等で変わるため 	現状通り		
前月末在庫台数 当月仕入台数 当月販売台数 当月末在庫台数	車種別(中古車・モーターバイクはなし)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> あまり参考にならない。 <input type="checkbox"/> 各店の特性がある。 <input type="checkbox"/> その店の考え、在庫できる店及び倉庫の広さもあるから。 <input type="checkbox"/> 在庫しないを実行中。 <input type="checkbox"/> カタログ販売のためお客さまませである。 	<p>調査票の記入チェック用に必要であるが、公表からはずす</p> <p>【見直し】 公表なし</p>		
自店や他店の販売動向、メーカーや卸への要望等のコメント	自由記述	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マイナス志向の文章ばかり、傷をなめ合うのはいいのかも… <input type="checkbox"/> すごく楽しみにしている <input type="checkbox"/> やる気を後押しされる時あり <input type="checkbox"/> 色々な考えがあつておもしろい <input type="checkbox"/> 販売店の声だけは動向が参考になる <input type="checkbox"/> 都道府県別に羅列され同じ内容が多くマンネリ化している。メーカー・市場の動向、販促の事例、量販店対策などテーマ別に分けた方が参考になる 	<p>要望を取り入れ設問の見直し (変わったこと、工夫したことがあれば教えてほしい、といった前向きなコメント記述にしては)</p> <p>【見直し】 記述を項目別にする ・メーカー・卸への要望 ・今月の目立った動き(商品の販売状況を中心に)</p>		
客層、消費者ニーズの動向等		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 購入客の性別・年代・購入層の推移(動向を把握し販売戦略に活かしたい) <input type="checkbox"/> 店の選定理由 <input type="checkbox"/> 1店当たりの客数 <input type="checkbox"/> 購入者が昔からの常連なのか初めてか <input type="checkbox"/> 購入者の設定(主婦・サラリーマン・学生) 	<p>コメントとして新たに追加記入</p> <p>【新規】 ・印象に残った、直近のお客さま情報(年齢、用途、車種、金額、購入までの来店回数等)を記述</p>		

項目	現状	ヒヤリング・意向調査での意見・要望・課題点	対応策
修理		<input type="checkbox"/> 修理箇所・修理内容・工賃 <input type="checkbox"/> 工賃による利益の推移 <input type="checkbox"/> 自転車・パーツ・修理の販売金額比率 <input type="checkbox"/> 自転車整備安全対応度 <input type="checkbox"/> 一日の修理の売り上げ <input type="checkbox"/> 各店の修理代金と売り上げに占める割合 <input type="checkbox"/> 修理の設定料金（バンク修理・タイヤ・チューブ交換など部品・工賃別代金） <input type="checkbox"/> 地域によって修理の内容・金額等はかなり違い、サービス等も大分違うのではないか。 <input type="checkbox"/> 月によって修理料金の調査を実施したら参考になる（タイヤ・チューブの取替〇,000円～〇,000円等） <input type="checkbox"/> 修理の増減 <input type="checkbox"/> 地方はスーパー・ホームセンターで購入し、自転車店は修理のみといった傾向が強いので修理等の調査項目の追加	修理に関する質問項目を追加 【新規追加】 ・修理件数前月比(増加・横ばい・減少)
公表方法	当協会ホームページ 月報(毎月) 年間総括表(年1回)	<input type="checkbox"/> 各種データのグラフ化 <input type="checkbox"/> 調査の主旨が違うのかも知れないがハンディと思われる中で成功している店の具体的な対策等紹介する方法はないか <input type="checkbox"/> 自転車と一緒に部品などを買ってもらう工夫など、各店のやり方・アイデアなど <input type="checkbox"/> メールニュースでの配信 <input type="checkbox"/> この調査をしている事をさらに強く外部に主張し、認知してもらう事が、業界全体の様々な分野での向上に繋がると思う	Gfk四半期ごとのレポート追加 参考となる内容にする 【新規】 ・大型専門店調査(毎月) ・Gfk 量販店の電動アシスト車レポート(年4回) 【見直し】 ・全国、5地域別、大都市・地方別の結果を示す ・公表する各種データのグラフ化 ・メールニュースでの配信
その他		<input type="checkbox"/> インターネット販売の状況 <input type="checkbox"/> 売れ筋の自転車メーカー・用品の製品名など具体的なもの <input type="checkbox"/> その月に実売された自転車の中で印象的だったもの(メーカー・車種・車名・色など)を書き込み形式 <input type="checkbox"/> 品質問題(市場クレーム)の内容と増減の推移 <input type="checkbox"/> 天候に左右される業種なので暑い寒い雨風を当てはめると面白い <input type="checkbox"/> オプション(リアバスケットとかミラー)の取り付け状況 <input type="checkbox"/> スポーツ車の販売時にどの位のパーツ代があるか <input type="checkbox"/> パーツ・アクセサリ販売と修理の統計、パーツ・アクセサリ販売と修理は、細かな内容まで区分されるとさらによい <input type="checkbox"/> ブロックダイナモ、ハブダイナモの搭載状況 <input type="checkbox"/> ヘルメットを購入した年齢構成や色、幼児車とジュニア車とヘルメットを買った子供の購買行動 <input type="checkbox"/> 最近では高級スポーツ車が人気とか？スポーツ車の予約があった等あるが、どの位の数が1店あたり売れているのか？ <input type="checkbox"/> 組合への加入状況や活動、加入のメリット・デメリットなど意見が知りたい <input type="checkbox"/> 困っていること、修理、また知らせたい事等伝言板を作ってみたい	【新規追加】 ・売上高比率 (自転車販売/修理/部品・付属品/用品/その他)